

1 単元名 NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit7 Welcome to Japan!

2 単元の目標

日本各地の魅力について知ってもらうために、グループで決めた行きたい場所について、そこでしたいことや行きたい季節など、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。また、自分が行きたい場所などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<知識> 日本の各地の魅力や日本文化等に関する語句、I want to go to ~. I want to see(eat) ~. It's ~.の表現について理解している。 <技能> 日本の各地の魅力や日本文化等に関する語句、I want to go to ~. I want to see(eat) ~. It's ~.などを用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	日本各地の魅力について知ってもらうために、行きたい日本の場所やそこでしたいことなどについて、自分の考えや気持ちなどを話している。	日本各地の魅力について知ってもらうために、行きたい日本の場所やそこでしたいことなどについて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。
書くこと	<知識> 日本の各地の魅力や日本文化等に関する語句、I want to go to ~. I want to see(eat) ~. It's ~.の表現について理解している。 <技能> 日本の各地の魅力や日本文化等に関する語句、I want to go to ~. I want to see(eat) ~. It's ~.などを用いて、自分の考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。	/	/

4 単元の指導と評価の計画

時	目標(◆) 主な言語活動(①、②…)	指導上の主な留意事項 ICTの活用	評価		
			知 技	思 判 表	態 度
1	◆行きたい日本の場所について伝え合うとともに、単元の見通しをもつ。 ① 教師の作成した都道府県クイズを行うとともに、どの都道府県に行きたいか教師と何度もやり取りをする。 ② どの都道府県に行きたいか、互いに伝え合う。 ③ 教科書pp.74-75の4つの写真を見て、どの都道府県の写真か予想する。 ④ 【Listen and Think】に取り組み、番号を書く。 ⑤ 教科書pp.74-81を見たり、教師の作成した単元学習計画等を見ながら、本単元の見通しをもつ。	①… 白地図を基に、クイズをいくつか作成しておく。また、日本地図(掛図)を教室に掲示する。 ④では、デジタル教科書の速度調節機能や字幕機能を使って、個別に聞き取る場をもつ。 ⑤では、デジタル教科書の【Step1モデル映像】を視聴するとともに、単元終末には、グループで行きたい場所やその理由について発表することを伝え、自分の行きたい都道府県の情報を集めておくよう指示する。また、クラウドに単元で使用するプリントや単元学習計画(単元の目標、評価規準、評価時期等)をアップして、児童がいつでも閲覧できるようにしておく。	記録に残す評価は行わないが、目標に向け指導を行う。		
2	◆行きたい日本の場所とそこに行きたい理由について聞き取る。 ① Small Talk "What season do you like?" ② 教科書p.75の【Watch and Think】を見て、ベーカー先生が欲しいティーポットの色を聞き取る。 ③ どの都道府県に行きたいか、また、それはなぜなのかについて、教師と何度もやり取りをする。 ④ 再度【Listen and Think】に取り組み、4人の人物がなぜそこに行きたいのか聞き取る。 ⑤ 正解を確認した後に、教師から配付されたリンクスクリプトを見て、再度聞きながら指で追う(Finger Walk)。	①… 季節の言い方や好きな季節を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ⑤… 1~4の中の一つを取り上げて、Finger Walkを行う。 ②④では、デジタル教科書の速度調節機能や字幕機能を使って、個別に聞き取る場をもつ。 ③では、デジタルマップを用いて、自分の行きたい都道府県で有名なものやできることなどについて考える場をもつ。また、デジタルデイクショナリーを用いて、動作を表す言葉をいくつか紹介する。	記録に残す評価は行わないが、目標に向け指導を行う。		

3	<p>◆行きたい日本の場所とそこに行きたい理由について伝え合う。</p> <p>① Small Talk "Where do you want to go in the Chubu Area?"</p> <p>② 教科書p.76の【Let's Watch】に取り組み、大地はどこに行きたかったかについて想起する。</p> <p>③ 教科書p.76の【Let's Listen①】に取り組む。</p> <p>④ どの都道府県や都市に行きたいか、また、それはなぜなのかについて、教師と何度もやり取りをする。</p> <p>⑤ どの都道府県や都市に行きたいか、また、それはなぜなのかについて、互いに伝え合う。</p>	<p>①… 地方を限定したり、どの地方に行きたいかを尋ねたりする。</p> <p>③… リスニングの前に、3枚の写真を見て、どこの場所か、どんな英語が聞こえてきそうかについて、ペアで確認する。</p> <p>⑤… 中間交流では、初めて知った日本各地の魅力について交流する。その後に、"I want to …"の表現や動作を表す言葉について確認したり、必要に応じて口頭練習を行ったりする。</p>			<p>記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
4	<p>◆行きたい日本の場所とそこでしたいこと、行きたい季節、その場所の感想や様子について伝え合う。</p> <p>① Small Talk "Where do you want to go? And why?"</p> <p>② 教科書p.77の【Let's Listen②】に取り組んだり、リスニングの後に、Finger Walkに取り組んだりする。</p> <p>③ 自分の行きたい都道府県や都市と、そこでしたいこと、行きたい季節、その場所の感想や様子について、教師とやり取りをする。</p> <p>④ どの都道府県や都市に行きたいか、また、そこで何がしたいかなどについて、伝えたい内容を整理したり、互いに伝え合ったりする。</p>	<p>①… "Where do you want go in Japan?"や"Why do you want to go to …?"を文発話できるように言語面の指導を行う。</p> <p>②… リスニングの前に、6枚の写真を見て、どこの場所なのか、どんな英語が聞こえてきそうか、また、自分なら6つの場所の中でどこに行きたいかについてやり取りをする。リスニングの後は、Finger Walkに取り組む、そこでできることが書かれている英文を見付ける。</p> <p>③… 季節や、感想・様子を表す言葉を意図的に用いて、語句の定着を図る。</p>		発	
5 6 7	<p>◆ 日本各地の魅力について知ってもらうために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて、自分の考えや気持ちを話したり、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを書いたりする。</p> <p>① Small Talk "What do you want to do in Kyoto and Nara?"</p> <p>② 再度、デジタル教科書の【Step1モデル映像】を視聴し、これから観光案内CMをグループで発表する言語活動を行うことを理解する。</p> <p>③ 地方ごとに3人1グループを作り、その地方で行きたい場所の「観光案内カード」を作成したり、発表の練習をしたりする。</p> <p>④ グループごとにペアを組んで、互いに発表し合う。また、中間交流では、どの場所に興味を持ったのか、また、それはなぜなのかについて全体で交流したり、I want to go to ~. I want to see(eat) ~. It's ~.の表現を正しく言うことができるように口頭練習したりする。</p> <p>⑤ 観光案内CMを動画に撮って、クラウドにアップする。また、アップされた動画を見比べながら、一番行ってみたい地方はどこか決めて投票する。</p> <p>⑥ 自分はどこに行きたいか、そこで何がしたいかについての英文を書く。</p>	<p>①… 来年度に修学旅行に行くことを伝え、京都や奈良で何がしたいかについて伝え合う。</p> <p>②… 友達が知らないような日本の魅力を発表内容に入れるとよいことを伝える。</p> <p>③… "Let's go to the ~ Area!"を、共通の話し始めとする。また、"Thank you for listening."を共通の話し終わりとする。</p> <p>④… 発表し合う前に、抽出したグループと教師とでモデルを示す。その際、相手の発表を聞いた後に、感想や質問を伝えたり、伝えたい内容を強調したりするなどして、発表のポイントを示す。</p> <p>⑤… まだ交流していないグループの動画を優先して視聴し、全てのグループの中から、自分が本当に行きたいと思ったところを決めるとともに、全体で交流する。</p> <p>⑥… 英文を書く前に、文字は線にそろえること、文字の位置に気を付けること、単語と単語の間は一文字分空けること、3つについて、教師が実際に書く様子を見せながら指導する。</p>		発	発
8	<p>① Small Talk "What do you like about Japanese culture?"</p> <p>② 教科書p.80の【文化探検】と【フカボリ!】、教科書p.81の【日本探検】に取り組む。</p> <p>③ 外国人に人気のある日本の観光地、食べ物、お土産等について、インターネットで調べたり、調べたことを発表したりする。</p> <p>④ 教科書p.81【ことば探検】に取り組む。</p> <p>⑤ 英語として使われている日本語を調べたり、英語で書いたりする。</p> <p>⑥ 4つのポイント(できるようになったこと、いいなと思った友達のことで、分からなかったこと、次の単元でチャレンジしたいこと)に沿って、単元の振り返りを行う。</p>	<p>②… ゴッホやモネの肖像画や、歌川広重や葛飾北斎の浮世絵を提示して、日本文化が外国の画家に影響を与えたことを伝える。</p> <p>③… あらかじめ、外国人に人気のある日本の観光地、食べ物、お土産などをランキング形式で提示できるように準備しておく。</p> <p>⑤… 日本語のまま通じる言葉(miso = 味噌、bonsai = 盆栽、tsunami = 津波、kawaii = 可愛い、など)を例示してイメージをもちやすくする。</p>		書	
<p>【備考】</p> <p>・【Let's Chant】、【Let's Sing】、【Sounds and Letters】については、指導計画に記載していないが、単位時間内に適宜取り扱うこととする。</p>					

②③では、デジタル教科書の速度調節機能や字幕機能を使って、個別に聞き取る場をもつ。

⑤では、協働支援ツールを用いて、児童が自由に、各グループの発表を見られるようにする。

③④では、協働支援ツールを用いて、インターネットで調べた内容を即時に共有できるようにする。
⑥では、振り返りの内容を即時に共有できるようにする。